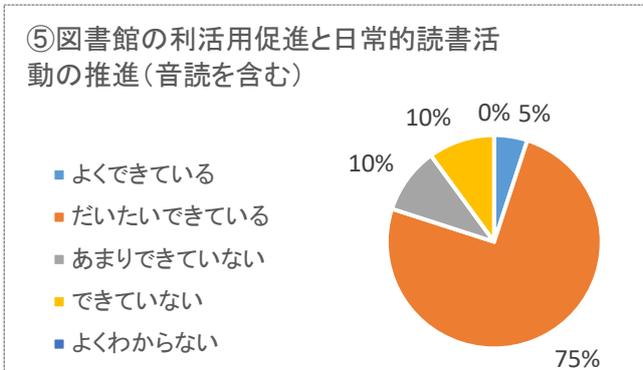
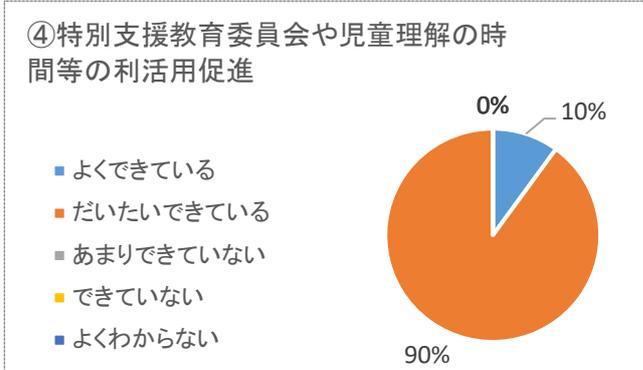
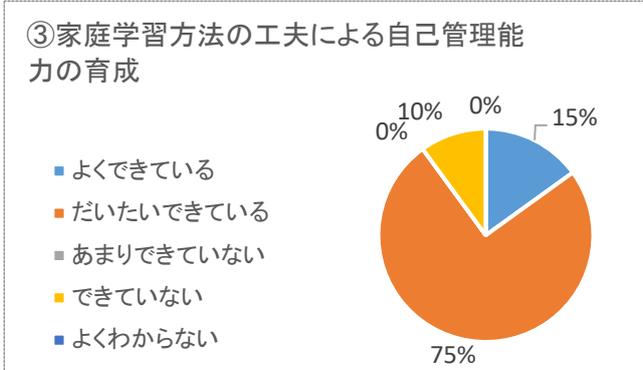
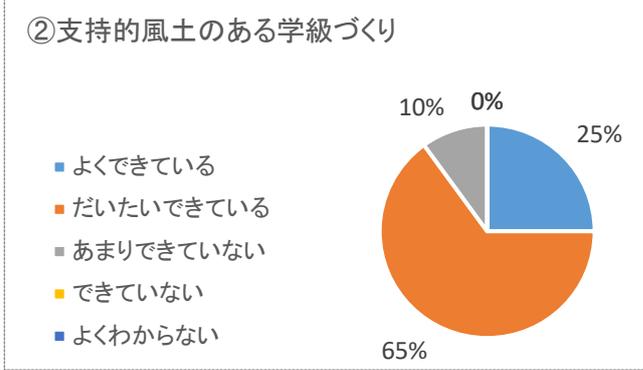
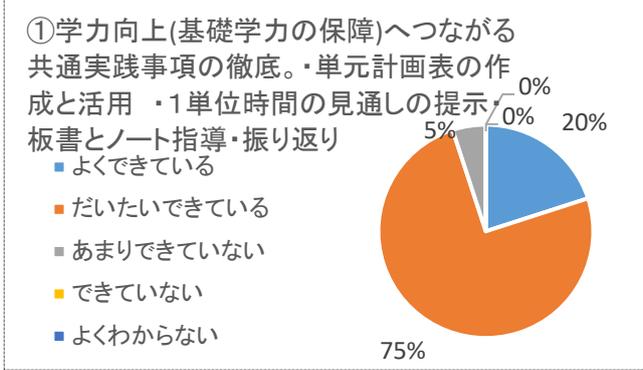
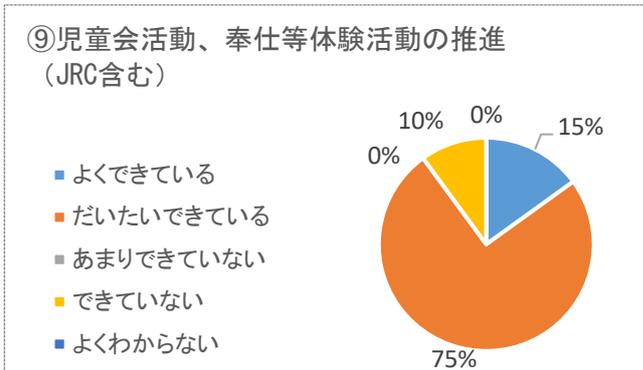
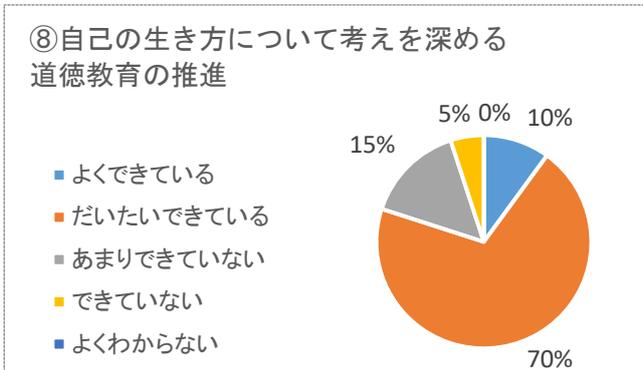
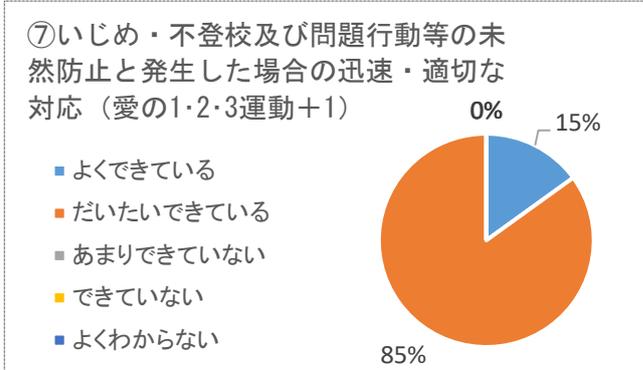
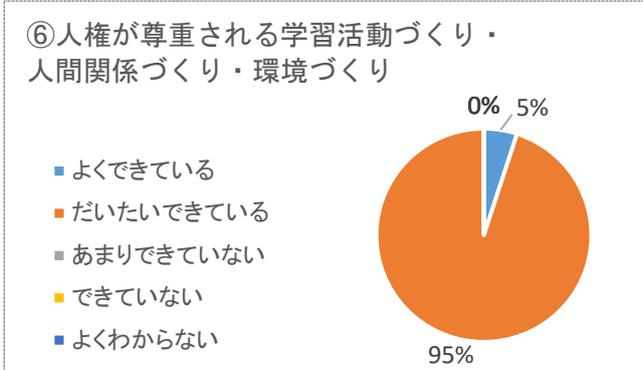


I 自己評価【職員アンケート結果及び考察】

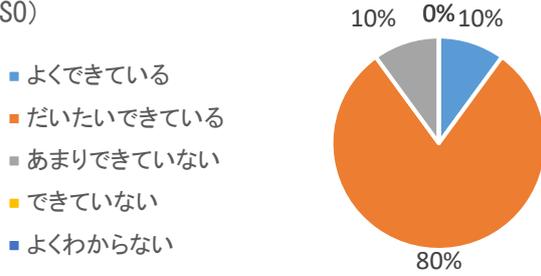
1 確かな学力の育成



2 豊かな心の育成

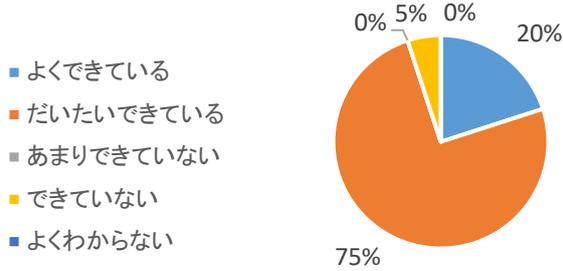


⑩美しく潤いのある環境づくり（清掃、栽培、掲示、言語、学校版環境ISO）

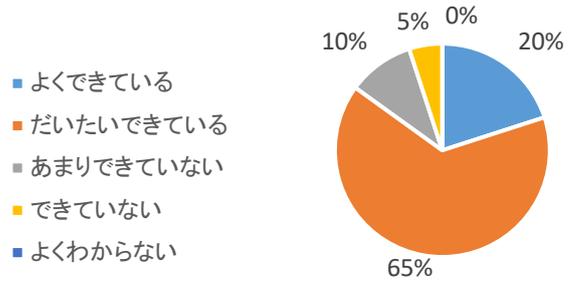


3 健康な体の育成

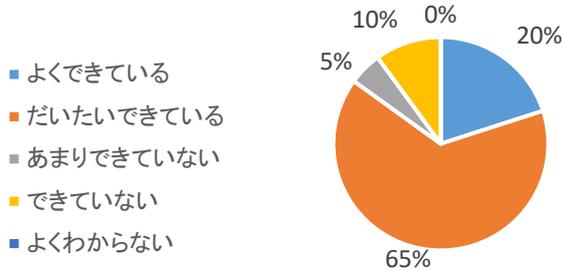
⑪安全指導・安全管理の徹底と危険予測・回避能力の育成



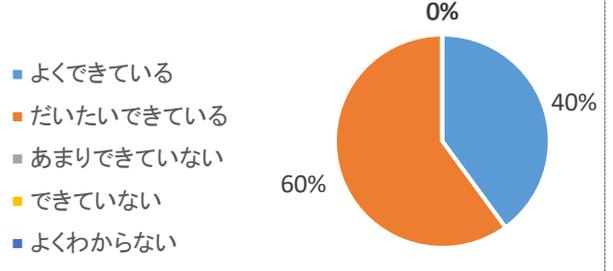
⑫健康的な生活習慣の形成



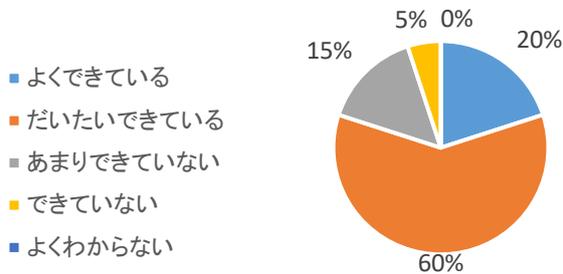
⑬指導計画に基づいた教科体育の実施（運動経験の保障）



⑭要配慮児童への組織的対応（食物アレルギー、疾病等）

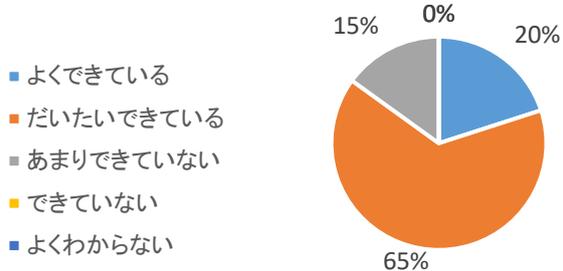


⑮望ましい食習慣の形成に向け家庭と連携した食育の推進



4 地域ともにある学校づくり

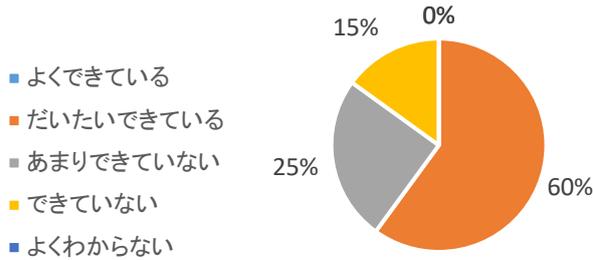
⑯保護者や地域への情報発信（各種便り、ホームページ、マチコミ、他）



⑰地域の教育資源（ひと・もの・こと）の活用と学校の地域貢献活動の取組

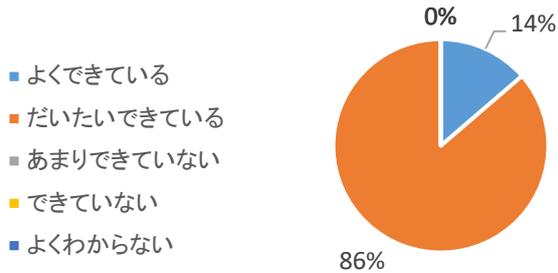


⑱コミュニティ・スクール及び地域学校
協働活動への理解度向上

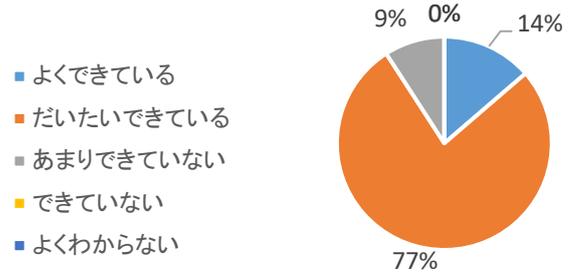


5 育成を目指す3つの資質・能力

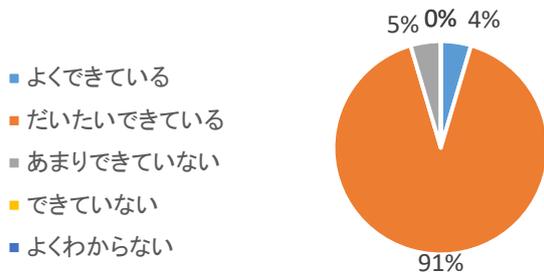
⑲主体的に取り組む力【すすんでとり
くむ】



⑳協働する力【なかまとりくむ】



㉑人間関係力【おもいやり】



4と3の平均は90%(R4:79%)であった。よい評価項目は、次の4つである。

- ・I「④特別支援教育委員会や児童理解の時間等の利活用促進」
- ・II「⑥人権が尊重される学習活動づくり・人間関係づくり・環境づくり」
- ・II「⑦いじめ・不登校及び問題行動等の未然防止と発生した場合の迅速な対応(愛の1・2・3運動+1)」
- ・III「⑭要配慮児童への組織的対応(食物アレルギー、疾病等)」である。

また、やや低い評価項目は次の4つである

- ・I「⑤図書館の利活用促進と日常的読書活動の推進(音読を含む)」
- ・II「⑧自己の生き方について考えを深める道徳教育の推進」
- ・III「⑮望ましい食習慣の形成に向け家庭と連携した食育の推進」
- ・IV「コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動への理解度向上

「育成を目指す3つの資質・能力」については平均95%である。

昨年度に比べて4と3の平均が11ポイント向上している。本年度の取組が充実していたからだと考える。課題もあるため、各学級や各校務分掌での取組を見直して更に改善を図っていきたい。毎年、課題となっている読書活動の取組については、学校の取組を工夫改善していくとともに、家庭との連携を図っていく必要がある。